

投資に役立つ

経済ワード

Vol.13

連邦準備制度

日本銀行やイングランド銀行、ユーロ圏のECB（欧州中央銀行）といった各国の中央銀行にあたるのが、米国の連邦準備制度です。

連邦準備制度が行なう金融政策は、「雇用創出」と「物価安定」という2つの使命を担うとされています。

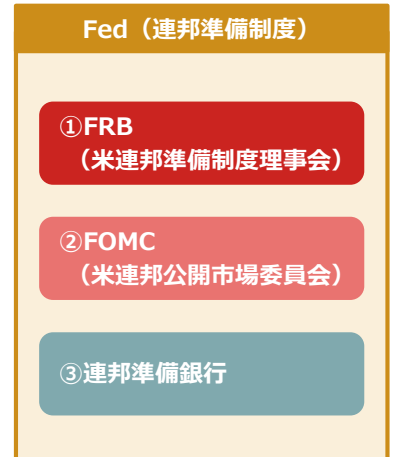


米国では複数の機関が中央銀行の役割を担う

米国において“銀行”ではなく“制度”であるのは、中央銀行の役割をFRB、FOMC、全米12地区の連邦準備銀行（地区連銀）など複数の機関が担っているためです。米国は国土が広く、地方分権主義の名残から、各州の独立性が高いことが背景にあります。

- ①FRBは連邦準備制度の最高意思決定機関として、7名の理事で構成され、全米12地区の連邦準備銀行を総括しています。理事は大統領が任命し、上院の承認を得て就任します。
- ②FOMCはFRBが年8回開催し、FRB理事7名と地区連銀総裁12名で構成されています。投票権がある12名（FRB理事7名と地区連銀総裁5名）による多数決で金融政策を決定します。
- ③地区連銀は全米50州を12地区に分割し、各地区ごとにひとつずつ設立されています。決定された金融政策の実施や、紙幣（連邦準備券）の発行、民間銀行の監督などを行ないます。

■連邦準備制度の主な3つの機関



FED : Federal Reserve System
FRB : Federal Reserve Board
FOMC : Federal Open Market Committee

FRBの独立性を脅かすトランプ大統領

トランプ大統領は民主党員であるイエレン前議長の任期満了に伴い、当時理事だった共和党員のパウエル氏を次期議長に指名しました。しかし、パウエル議長が段階的利上げを続けたことで、パウエル氏の批判を強めるようになりました。現在、FRB理事7名のうち2名が空席となっており、この席にトランプ大統領は自らに近い人物を送り込み、金融政策への影響力を強めようとしています。1名は上院の反対で断念しました。金融政策の投票権を持つ2名であることから、人選が注目されています。

一般的に各国の中央銀行は適切な金融政策決定のために、政府などに対して独立性を有しています。選挙対応などの政治的思惑から短期的な景気拡大を優先させることで、持続的な成長のための金融政策の方向を見誤ってしまう懸念があるためです。市場参加者も各国中央銀行の独立性を重視する傾向にあり、大統領や要人による中央銀行への批判や圧力などが嫌気され、市場が下落することがあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。